至誠館大学

科目名	発達心理学（中・高）			コード	
英語表記	Develpmental　Psychology				
担当教員名	福田　廣			年度	平成28年度
基準年次	1年次	開講期	前期	単位数	2
授業形態	講義	授業形式		履修形態	選択

授業概要

本講義では、胎児から青年期までの、人の発達についてとりあげる。

具体的には、①発達の各段階に焦点をあて、発達心理学の重要な知見を紹介するとともに、発達心理学の方法並びに代表的な理論についても解説する。②現在、幼児・児童虐待および発達障害の問題が社会的に注目されており、発達心理学の分野でも、重要なテーマとなっている。これらの問題の理解と支援に関する講義も行う。

到達目標

発達心理学の基礎的な知識の習得を目標とする。

授業計画

第1回	胎児の発達（山口担当）
第2回	新生児の認識する世界（山口担当）
第3回	乳児の運動の発達、ことばの発達（福田担当）
第4回	乳児の情動発達とコミュニケーション（福田担当）
第5回	幼児のことばの発達（福田担当）
第6回	幼児の遊びの発達、自我の目覚め（福田担当）
第7回	幼児の思考の発達、会話の発達（福田担当）
第8回	児童期のことばの発達（福田担当）
第9回	児童期の認知発達、社会性の発達（福田担当）
第10回	肢体不自由及び内部障害を持つ児童、生徒の理解と支援（山口担当）
第11回	視覚障害及び聴覚障害をもつ児童、生徒の理解と支援（山口担当）
第12回	知的障害及び精神障害をもつ児童、生徒の理解と支援（山口担当）
第13回	発達障害（自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害）をもつ児童、生徒の理解と支援（山口担当）
第14回	幼児・児童虐待に対する理解と支援（山口担当）
第15回	最新学説：赤ちゃん学の現在（山口担当）

評価方法と基準

成績については、出席、レポート並びに試験等によって総合的に評価する

評価項目と割合（%）

出席	授業態度	レポート	期末試験	その他

授業外学習

テキスト、教材

なし

参考書

『よくわかる発達心理学』（ミネルヴァ書房）、『よくわかる認知発達とその支援』（ミネルヴァ書房）、

『幼児心理学への招待』（サイエンス社）等を参考書とする。参考資料は必要時に配付する。

受講生へのメッセージ

自分で積極的に学び、考えるという、真摯な受講態度を期待する。

キーワード